

2023年5月10日

各 位

会社名	三菱ロジスネクスト株式会社		
代表者	代表取締役社長	間野 裕一	
		(コード番号 7105 東証スタンダード)	
問合せ先責任者	財務本部財務部長	望月 宏樹	
		(TEL 075-951-7171)	

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」 の一部訂正について

2022年11月1日に発表いたしました「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

在外子会社が行っているセール・アンド・リースバック取引の一部に係る会計処理に関し、再検討を行った結果、リース資産及びリース債務の一部については、機械装置及び運搬具とその他流動負債及びその他固定負債として取り扱われることが判明したため、その一連の会計処理を訂正いたしました。

2. 主たる訂正内容

四半期連結貸借対照表の固定資産が18億3千2百万円増加、流動負債が5千3百万円減少、固定負債が18億8千5百万円増加しております。損益に与える影響は軽微のため、四半期連結損益計算書の変更はございません。

3. 訂正箇所

訂正箇所は__を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから上記の訂正事項については、訂正後のみを記載しています。

以 上

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月1日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間野 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部財務部長 (氏名) 望月 宏樹 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	279,595	29.4	1,081	△30.8	1,027	△28.3	△1,351	ー
2022年3月期第2四半期	216,091	16.5	1,562	ー	1,433	ー	26	ー

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11,004百万円 (777.5%) 2022年3月期第2四半期 1,254百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△12.67	ー
2022年3月期第2四半期	0.25	0.25

(参考) のれん等償却前営業利益 2023年3月期第2四半期 6,217百万円 (△1.4%)
 2022年3月期第2四半期 6,306百万円 (45.2%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	465,727	73,917	15.7	687.24
2022年3月期	405,601	63,737	15.6	592.02

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 73,295百万円 2022年3月期 63,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	ー	ー	8.00	8.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期 (予想)	ー	ー	ー	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	31.1	11,500	220.1	10,000	208.6	3,500	388.0	32.82

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社、除外 ー社 （社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	106,658,013株	2022年3月期	106,645,013株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,216株	2022年3月期	7,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	106,644,083株	2022年3月期2Q	106,581,368株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米諸国を中心に物価上昇が予想以上に加速し金融引き締めを招いたほか、中国では新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウンや不動産市場の冷え込みなどを受け景気が減速、更には、2月以来続いているロシアのウクライナ侵攻による影響もあって、世界経済の大幅な減速懸念が高まり、一部地域においては実際に減速が始まっているものと思われま。また、コロナ禍からの急激な回復局面で引き起こされた、資源高・原材料市況や輸送運賃の高騰・サプライチェーンの混乱も、地域差はあるものの依然として継続しており、世界経済の不透明感は増すばかりとなっております。

このような中、フォークリフトを始めとする物流機器市場は、国内においては、コロナ禍前を超えるまでの水準になってきており、海外においては、米州では物流ニーズの高まりによりコロナ禍前を上回る需要が継続しておりますが、その一方で、欧州はロシアからのエネルギー供給問題などで企業活動鈍化の気配が出始めており、好調だった市場は弱含みに推移しております。また、アジアは引き続き堅調に推移しておりますが、中国はゼロコロナ政策の推進などによる影響もあって市場の減速感は否めません。

当社においては、グループ各社の受注は概ね順調ではありますが、半導体不足から始まった様々な部品供給の遅れによるリードタイムの長期化、原材料費・輸送費を始めとしたコスト高は前年度から継続しています。そうした状況下で、国内は部品欠品から出荷が進まず、また、中国では景気減速局面での伸び悩みがある一方で、欧米では出荷促進や価格改定の効果が出始めてきております。しかしながら、世界経済の減速懸念が高まる中で、予断を許さない状況が続いていることに変わりはなく、引き続き部品供給の確保・整流化による出荷促進に取り組むとともに、併せてコストの削減にも注力してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、2,795億9千5百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。利益面については、原材料及び輸送費の高騰影響に加え、部品欠品による国内の減収が響き、営業利益は10億8千1百万円（前年同期比30.8%減少）、経常利益は10億2千7百万円（前年同期比28.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は13億5千1百万円（前年同期2千6百万円の利益）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、営業利益は62億1千7百万円（前年同期比1.4%減少）となり、営業利益率は2.2%となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

〔国内事業〕

国内事業は、受注は堅調に推移しているものの、部品欠品から出荷が進んでいないことにより、売上高は803億2千5百万円（前年同期比3.9%減少）となりました。セグメント損失は、売上高の減少に加え、コスト高の影響もあり、15億円（前年同期3億4千5百万円の利益）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は9億1千5百万円（前年同期比66.6%減少）となっております。

〔海外事業〕

海外事業は、米州、欧州を中心とした販売台数の増加に加え、為替の円安影響も寄与し、売上高は1,992億7千万円（前年同期比50.4%増加）となりました。セグメント利益は、原材料及び輸送費の高騰影響はあるものの、売上高の増加に加え、価格改定の効果が出始めてきていることなどにより、25億8千1百万円（前年同期比112.0%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は53億2百万円（前年同期比48.6%増加）となっております。

特に米州においては、好調な受注を背景に大きく売上高を増加させ、原材料及び輸送費の高騰は依然として継続しておりますが、販売子会社のリース・レンタル事業の好調や価格改定効果もあり、これらがセグメント利益の増加に寄与しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、4,657億2千7百万円となり、前連結会計年度末より601億2千5百万円増加しました。流動資産は、主に為替の円安影響による売掛債権及び棚卸資産の増加等により、206億6千3百万円増加しました。固定資産は、会計方針の変更で機械装置及び運搬具やリース資産が増加したこと等により、394億6千2百万円増加しました。

負債合計は、3,918億1千万円となり、前連結会計年度末より499億4千6百万円増加しました。主な要因は、為替の円安影響に加え、会計方針の変更によるリース債務、その他流動負債及びその他固定負債の増加です。

また、純資産については、新株予約権及び非支配株主持分を除くと732億9千5百万円となり、前連結会計年度末より101億6千3百万円増加しました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえて、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2022年11月1日)公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,562	16,065
受取手形、売掛金及び契約資産	82,382	85,815
電子記録債権	2,030	1,800
商品及び製品	50,602	58,332
仕掛品	13,346	23,474
原材料及び貯蔵品	32,773	33,287
その他	45,155	40,934
貸倒引当金	△1,274	△1,468
流動資産合計	237,578	258,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,866	21,834
機械装置及び運搬具(純額)	48,630	63,117
土地	21,841	22,279
リース資産(純額)	6,901	28,477
その他(純額)	4,034	4,205
有形固定資産合計	102,273	139,914
無形固定資産		
のれん	30,106	31,741
その他	16,900	16,768
無形固定資産合計	47,007	48,509
投資その他の資産		
投資有価証券	7,139	6,874
その他	11,659	12,243
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	18,742	19,061
固定資産合計	168,023	207,485
資産合計	405,601	465,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,504	71,397
電子記録債務	17,191	8,851
短期借入金	46,507	58,953
リース債務	2,983	7,379
未払法人税等	3,862	1,167
賞与引当金	4,348	4,346
役員賞与引当金	68	45
製品保証引当金	3,062	3,193
関係会社整理損失引当金	75	75
その他	39,100	46,049
流動負債合計	180,704	201,460
固定負債		
長期借入金	131,678	131,925
リース債務	7,013	20,196
製品保証引当金	2,247	2,583
役員退職慰労引当金	9	7
退職給付に係る負債	15,907	16,214
その他	4,302	19,422
固定負債合計	161,159	190,349
負債合計	341,863	391,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,924	4,927
資本剰余金	34,762	34,765
利益剰余金	10,644	8,439
自己株式	△2	△2
株主資本合計	50,328	48,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,380	2,138
為替換算調整勘定	10,533	23,003
退職給付に係る調整累計額	△111	23
その他の包括利益累計額合計	12,803	25,165
新株予約権	273	297
非支配株主持分	333	323
純資産合計	63,737	73,917
負債純資産合計	405,601	465,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	216,091	279,595
売上原価	166,593	219,343
売上総利益	49,497	60,252
販売費及び一般管理費	47,935	59,171
営業利益	1,562	1,081
営業外収益		
受取利息	291	340
受取配当金	46	155
持分法による投資利益	8	49
為替差益	29	596
補助金収入	18	—
その他	228	188
営業外収益合計	623	1,330
営業外費用		
支払利息	734	1,270
その他	18	114
営業外費用合計	752	1,384
経常利益	1,433	1,027
特別利益		
固定資産売却益	105	118
投資有価証券売却益	0	4
受取保険金	2	—
特別利益合計	107	123
特別損失		
固定資産処分損	111	67
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	13
災害による損失	0	0
関係会社整理損	—	399
減損損失	171	—
その他	—	91
特別損失合計	282	572
税金等調整前四半期純利益	1,258	577
法人税、住民税及び事業税	1,613	751
法人税等調整額	△399	1,192
法人税等合計	1,213	1,944
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44	△1,366
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26	△1,351

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44	△1,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	△241
為替換算調整勘定	418	12,471
退職給付に係る調整額	400	135
持分法適用会社に対する持分相当額	9	6
その他の包括利益合計	1,209	12,371
四半期包括利益	1,254	11,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,238	11,010
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC842号「リース」の適用)

米国会計基準を適用する在外子会社について、ASC842号「リース」を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより、当該在外子会社における借手のリース取引については、原則すべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。また、セール・アンド・リースバック取引を再評価し、売却処理に該当しないと結論付けた取引について、金融取引として会計処理しており、譲渡資産を引き続き認識し、譲渡収入を金融負債として認識する会計処理を適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の連結貸借対照表においては、有形固定資産の機械装置及び運搬具(純額)が8,546百万円とリース資産(純額)が23,671百万円、流動負債のリース債務が6,111百万円とその他が795百万円、固定負債のリース債務が17,611百万円とその他が7,699百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,624	132,467	216,091	—	216,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,975	1,081	23,056	(23,056)	—
計	105,599	133,548	239,147	(23,056)	216,091
セグメント利益又は損失(△)	345	1,217	1,562	—	1,562

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額です。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の国内事業の売上高は818百万円減少、セグメント利益は72百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,325	199,270	279,595	—	279,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,995	991	25,986	(25,986)	—
計	105,320	200,261	305,581	(25,986)	279,595
セグメント利益又は損失(△)	△1,500	2,581	1,081	—	1,081

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額です。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

3. その他

参考情報：2023年3月期 第2四半期決算<連結>

1. 決算ハイライト

(単位：億円)

	2022年3月期					2023年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	1,080.7	1,080.1	1,207.3	1,285.7	4,654.0	1,352.9	1,442.9			2,795.9
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	34.7 3.2%	28.2 2.6%	37.2 3.1%	29.8 2.3%	130.1 2.8%	10.8 0.8%	51.2 3.5%			62.1 2.2%
のれん等償却	△ 22.7	△ 24.7	△ 23.0	△ 23.7	△ 94.2	△ 26.8	△ 24.4			△ 51.3
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	12.0 1.1%	3.5 0.3%	14.1 1.2%	6.1 0.5%	35.9 0.8%	△ 15.9 △1.2%	26.7 1.9%			10.8 0.4%
経常利益 (経常利益率)	11.9 1.1%	2.4 0.2%	13.1 1.1%	4.9 0.4%	32.4 0.7%	△ 14.7 △1.1%	24.9 1.7%			10.2 0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	△ 0.3 △0.0%	0.6 0.1%	3.1 0.3%	3.7 0.3%	7.1 0.2%	△ 15.3 △1.1%	1.8 0.1%			△ 13.5 △0.5%

為替レート

(単位：円)

USD	109.49	109.80	111.11	112.38		129.57	133.97			
EUR	131.93	130.88	130.61	130.56		138.12	138.73			

2. セグメント情報

(単位：億円)

		2022年3月期					2023年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	国内事業	409.2	426.9	447.0	456.2	1,739.5	390.1	413.1			803.2
	海外事業	671.4	653.1	760.3	829.5	2,914.5	962.8	1,029.8			1,992.7
営業利益	国内事業	11.3	16.0	23.6	12.5	63.5	2.8	6.2			9.1
	海外事業	23.4	12.1	13.5	17.3	66.5	7.9	45.0			53.0

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位：億円)

地域	2022年3月期					2023年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	409.2	426.9	447.0	456.2	1,739.5	390.1	413.1			803.2
米州	400.4	404.4	475.8	515.5	1,796.3	616.4	691.9			1,308.4
欧州	196.4	171.8	204.4	232.3	805.0	253.4	233.5			486.9
アジア・中国	74.6	76.9	79.9	81.5	313.0	92.9	104.4			197.3
計	1,080.7	1,080.1	1,207.3	1,285.7	4,654.0	1,352.9	1,442.9			2,795.9

3. フォークリフト販売台数

(単位：千台)

	2022年3月期					2023年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	7	7	8	8	29	6	6			12
海外	18	16	19	21	74	21	19			40
合計	25	23	27	28	103	27	25			52